

題字：鳩山威一郎

機関紙「友愛」

発行所

(財)日本友愛青年協会
〒112-0002
東京都文京区小石川
1-10-13 小石川文天ビル2階

TEL: 03-5684-3188

FAX: 03-5684-3186

E-mail: yuai@qj8-so-net.ne.jp

http://www.yuayouth.or.jp

発行人：川手正一郎

編集人：鶴巻 克雄

隔月1回 10日発行

購読料

年額 3,000円

福建省アモイ市環境保全緑化事業完成

第十六次植林訪中実施

中国国内初都市緑化も実施 緑化公園も完成 川手団長以下七名が訪中 鳩山友愛塾からも参加

日本友愛青年協会の公益事業の一つである植林活動は、着実に成果を挙げている。第十六次植林活動として行われたアモイ環境緑化は、今年度最終工程を終え、目的を遂げた。

三月三日(水)～五日(金)の三日間、第十六次植林活動が実施され、友愛植林訪中団が中国を訪れた。一行は川手正一郎団長以下七名、福建省アモイ市で植林活動を行った。第一期訪中の折りには、外務省の公式事業として当財団主催の「けん玉大会」を併せて開催するなど文化交流を深めたアモイ市は、中国でも初めての「都市緑化」を具現化したこととなる。植林活動は、都市緑化のみに終わらず、小規模なダムを建設、その付近への植林も実施され、近隣の作付け面積を拡大させ、治水・環境保全の目的も果たした。同行の井之輪豪事務局次長の随行記を掲載し、実施の模様をお伝えしたい。



事務局次長 井之輪豪記
宿泊地であるアモイ市街地から山道をバスに揺られること一時間半、翔安植林事業地に到着した。

友愛植林訪中団が植林地に到着したときには既にアモイ海洋大学等のボランティア大学生たちが歓迎の隊列を組んでおり盛大に友愛訪中団を迎えてくれた。

当日は、アモイ市が台湾島の対岸にあり東京より遙か南に位置することを考えたとしても三月としては汗ばむような暑さであり、標高が高いせいもある、その日差しが強さに団員の多くが目をつめていた。

第一期施行、第二期施行時に植えた木々。温暖な気候に恵まれ、活着率九十%以上と、ほとんどの樹木が、大地に根を張り、大きく枝を伸ばしている。中には幹の直径が10センチメートルを超えるものもある。植林した樹木の多くが常緑樹のため、炭酸同化作用による二酸化炭素の削減に大いに期待できる。



第一期・第二期の植林実施より、第三期実施地域及び既実施地を望む。小さな湖に見えるのは、下流(画面右)に造られたダムの貯水。このダムの完成によって、兩岸の治水が行われ、畑が水に流されることもなくなった。また、この貯水地の両側(画面手前及び対岸の山)も既植林実施地。撮影場所あたりは、緑化公園として市民に活用されている



▼三月弥生、別れの時期といわれる。多分に卒業式がある、そこからのことだろう。毎日会っていた学友と、そうそう簡単に会えなくなるのは、正直寂しいものである。ましてや大学を出て、各人が社会人となると、一堂に会することは難しい。▼しかし、卒業ということは、巣立ち、新しい世界に出発することであるから、別の場所での新しい出会いに繋がっている。

▼私が現役で、友愛活動をしてきた頃、友愛青年同志会(日本友愛青年協会の前身)の三十五歳卒業説を唱えた。卒業した彼らは、OB会のかたちで新たに「友愛クラブ」を発足させ、月一回の例会ながら、近く五百回になるとうする今日まで活動を続けている。これもまた、卒業がもたらした新しい出会いの形態ではないだろうか。▼友愛で出会った友人は、得難いものであることを、それを実感している私が一番良く知っている。未だに、事務所に行くくと、当時の若者の懐かしい顔に出会う。▼音羽(現鳩山会館)に出掛け、地下室で侃々諤々、様々なことを議論してた当時の青年も、既に古希を迎えている。かく言う私も既に現役を退いて久しい。しかし、私が薫陶を受けた一郎先生は、古希を迎えてなお、「友愛」を青年に説いておられた。軽井沢の友愛山荘で、「寒くないかい?」と声をかけていたことが、懐かしく思い出される。



皆さんの目が輝いています。中国の未来に期待しますと川手団長の言葉が響いてきます。

このことは、人間と人間、自然と人間の共存共生を掲げる私たち友愛にとっても大きな意義のあることなのです。」と述べた。

川手団長のスピーチを聞き、皆さんの目が輝いています。中国の未来に期待しますと川手団長の言葉が響いてきます。



くボランティア学生は、力強く輝いており、今回の植林活動に対する期待が強く感じられた。

今年度のアモイ植林事業は、都市部であるアモイの自然環境・社会的特徴を踏まえ、良好な都市環境の造成のため七〇ヘクタールの記念碑の前で訪中団一同、中国側関係者とともに記念撮影

写真上 第一期・第二期と遂行してきた植林事業を大きなパネルで紹介。アモイ市がいかにかこの事業に期待し、熱心に取り組んで来たかを物語っている。



アモイ海洋大学の学生他三百余名が参加。いつもながらの熱烈歓迎



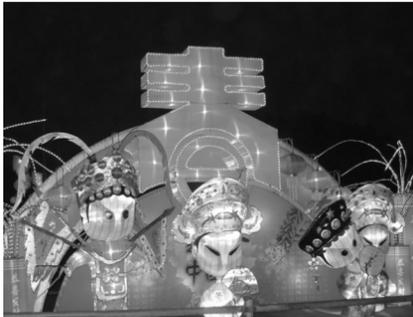
鳩山友愛塾塾生も参加。現地の大学生と共に汗を流して植林活動

造成地に景観樹六品種、四万二千六百本の苗木を植林することになる。

三年間にわたり実施されてきた日中青年アモイ生態緑化林プロジェクトは、今年度で完了することが予定されており、二〇〇七年度の第一回実施から計一八〇・六ヘクタールの造成地に一七万六千六百株の植樹をしたことになる。



肉屋の店先に並んだ肉。顔を含め各部位別に置かれている。文化の違いを知ることが交流の第一歩!



旧正月が過ぎたばかりの中国、正月飾りを数日間残すのが慣習とか



当地の名産品石版に、緑溢れる未来の様子が描かれた額が贈られた



特産の銘石を使って造られた記念碑。「日本友愛青年協会の協力を得て」と朱で刻まれている

内閣府 青少年の国際交流

世界を知ろう! 日本を伝えよう!

内閣府が推進する国際交流事業の一環として、青少年を対象とした「青少年の国際交流」事業の参加者を募集している。

この事業は、開始時期、期間、訪問先など多岐にわたって実施され、参加には青少年団体の推薦を要することから、ここに概要をご紹介します多くの方の挑戦を期待するところである。

* 締め切りの都合もありますので、参加ご希望の方は3月末日までに日本友愛青年協会事務局宛ご連絡をお願いいたします。

* 詳細は下記ホームページ(内閣府・国際交流)をご参照ください。

平成22年度国際青年育成交流事業 (青年海外派遣) (第17回)

日本の青年の国際的視野を広げ、日本及び諸外国の青年相互の理解と友好を促進し、併せて国際協調の精神と実践力を向上させ、もって国際社会の各分野で指導性を発揮できる青年を育成することを目的とする。また、参加青年が青少年健全育成活動に寄与することを期待するものである。

平成22年度日本・中国青年親善交流事業 (青年中国派遣) (第32回)

日本の青年の国際的視野を広げ、日本及び中国の青年相互の理解と友好を促進し、併せて国際協調の精神と実践力を向上させ、もって国際社会の各分野で指導性を発揮できる青年を育成することを目的とする。また、参加青年が青少年健全育成活動に寄与することを期待するものである。

平成22年度日本・韓国青年親善交流事業 (青年韓国派遣) (第24回)

日本の青年の国際的視野を広げ、日本及び韓国の青年相互の理解と友好を促進し、併せて国際協調の精神と実践力を向上させ、もって国際社会の各分野で指導性を発揮できる青年を育成することを目的とする。また、参加青年が青少年健全育成活動に寄与することを期待するものである。

平成22年度「世界青年の船」事業 (第23回)

日本の青年の国際的視野を広げ、日本及び諸外国の青年相互の理解と友好を促進し、併せてその国際協調の精神と実践力を向上させ、もって国際社会の各分野で指導性を発揮できる青年を育成することを目的とする。さらに、文化・思想をはじめとした多種多様性を有する国際社会の縮図となる「世界

青年の船での共同生活・活動」という具体的かつ実践的な経験の場を提供することを通じ、世界中の青年同士の①人的ネットワークを構築し、②共同活動を促進するなど、我が国として、人材育成という観点から目に見える形での国際貢献に寄与することを目指すものである。

平成22年度「東南アジア青年の船」事業 (第37回)

日本の青年の国際的視野を広げ、日本及びASEAN加盟10か国(以下「参加国」という。)の青年相互の理解と友好を促進し、併せて国際協調の精神と実践力を向上させ、もって国際社会の各分野で指導性を発揮できる青年を育成することを目的とする。本事業は、日本とASEAN各国との共同事業としての性格を有しており、本事業に参加し、時間と空間を共有することにより固い絆で結ばれた参加青年は、将来のアジア、ひいては世界の平和と繁栄のための日本とASEANの戦略的パートナーシップを支えることが期待される。

平成22年度青年社会活動コアリーダー育成プログラム (青年海外派遣) (第9回)

多様な個人が能力を発揮しつつ、自立して共に社会に参加し、支え合う「共生社会」を築いていくためには、地域住民やNPO等による社会活動の充実が必要不可欠であるという認識のもと、高齢者関連、障害者関連及び青少年関連の社会活動に携わる日本青年を海外に派遣し、海外の民間組織等で活動する青年リーダーとの交流を通じて、社会活動の中心的担い手となる青年コアリーダーの能力向上と、ネットワークの形成を図ることを目的とする。

[www//cao.go.jp/koryu/index.html](http://cao.go.jp/koryu/index.html)

鳩山友愛塾第二期講義終了・修了式挙行

鳩山由紀夫塾長代行も出席・第二期生二十八名が修了証を受ける

一期生・二期生の交流を実施予定。井上和子塾長が発表

鳩山友愛塾は、第二期の全行程を終え、三月九日(火)修了式を挙行了した。当日は、内閣総理大臣に就任した鳩山由紀夫塾長代行も公務多忙の中、時間を限って出席、塾生はもとより、関係者一同を大いに喜ばせた。

修了式は、鳩山由紀夫塾長代行の時間を考慮し、到着と同時に全員揃っての記念撮影。その後送る言葉

をいただいた。挨拶の中で、鳩山由紀夫塾長代行は、自らが総理に就任したため、講義を全う出来なかった事



第18回講義 月尾嘉男東京大学名誉教授
第17回講義 宮脇昭横浜国立大学名誉教授
第16回講義 田坂広志多摩大学大学院教授



井上和子塾長 皆さんの学ぶ姿勢、鋭い質問が心に残っています。益々のご活躍をとお祈り



鳩山由紀夫塾長代行 塾で得た全てを活用して、自分の道を拓いてくださいと励ましの言葉を



紙面の都合で、講義報告は割愛させていただきます。第十六回以降の講師の方々は、写真(左上)でご紹介いたしました。

閉会后、別れを惜しむ塾生へ、井上和子塾長から、一期生と二期生の交流会を企画しています。と嬉しい発表があった。名残を惜しみながら、会を終了した。



井上塾長、鳩山由紀夫、鳩山邦夫両塾長代行と共に記念撮影。全員の前で笑顔が溢れている。培われた友愛の絆を笑顔が物語っている



塾生代表、石川直哉さんによる「謝辞」。心打つ言葉で語られた



鳩山由紀夫塾長代行は、公務のため中座、塾生全員と堅い握手を



「友愛サロン」を活用してくださいと鶴巻克雄運営委員



一期修了生が塾の会への誘いのため参加。友愛交流の第一歩が!



川手正一郎塾長補佐の音頭で乾杯。声高らかに力づく杯を

ウィーンへの抱負 村元彩夏

第二十回友愛ドイツ歌曲コンクールで二位の荣誉に輝いた村元彩夏さんは、当財団派遣事業の一環として、ウィーンで開催されるコンサート(姉妹団体OJAB主催)出演のため日本を離れた。その抱負をここに紹介します。コンサートは三月十六日(火)に開催される

昨年十二月に行われた友愛ドイツリートコンクールでの賞として、この度ウィーンへの研修旅行に行かせていただけることになりました。友愛青年協会の皆様には、私のような若者にこのような貴重な機会を与えてくださったことを心より感謝いたします。

今も昔も、数多くの音楽家が学ぶ「音楽の都ウィーン」。その本場でリサイタルができるなんて、一生に一度あるかないかの夢舞台です。

空気や、人々、自然、匂い...あらゆることから、ただそこに身を置いているだけでも必ず得るものがあるような気がします。溢れそうなほどの期待と共に、不安なこともたくさんあります。

言葉は通じること、体調を崩さないように気をつけよう、リサイタルでは思いっきり歌ってみたいです。

OJAB Lieder & Kammermusik Abend 2010
DIENSTAG, 16. MÄRZ 2010
19.30 UHR
BÖSENDORFER-SAAL
GRAF STARHBERGEGASSE 14, 1040 WIEN
BENEFIZKONZERT zugunsten 'Straßenkinder in Otagadougou'
Mit Werken von G.F.Händel, R.Schumann, F.H.Mendelssohn & Y.Nakajima
Muramoto Ayaka, Sopran
Ende Preisgänger der UAG: Elisabeth Wehrle, Julia 2009
Greta Bantini, Klavier
Donka Dissanaka, Violine
Agata Lukasiewicz, Klavier
Der Eintritt ist frei um Spenden für die OJAB-Ausbildungsprojekte in Burkina Faso wird gebittet.
Konto-Nr.: 50-20 223 221
Kaufhauslebenshilfe AG-Wien (RIZ-5200)

OJABが作成したコンサートの案内。村元さんの写真・友愛のロゴマークを配して

